

図書館かがわ

香川県立図書館報 第123号

Library Kagawa



発行日 2019.4.1

ISSN 1344-5464

<平成31年> 現在



インターネット席を設置

社会の変化に合わせて様々なサービスを提供

新コーナーを設置



子育て支援コーナー



健やか生活応援コーナー



ビジネス情報・しごと応援コーナー

新館開館から25年！

県立図書館は、平成31年3月28日に新館開館から25年となりました。

平成6（1994）年、高松市番町から林町の旧高松空港跡地に移転してから、四半世紀、約49万冊でスタートした蔵書冊数は、平成28（2016）年には100万冊に達しました。この間、パソコンやインターネットの普及などにより社会は急速に変化し、情報通信技術の活用やビジネス、子育て、健康等の課題解決支援などの新しいサービスも生まれています。

県立図書館では、これからも、県民の皆さまの読書や調査研究活動を支え、応援できるよう努めてまいります。

6月8日からは、新館開館25年記念の展示を閲覧室展示コーナーで開催し、図書館のあゆみを振り返ります。その際には、ぜひご覧ください。

●子どもの本と読書の講座『絵本を選ぶ・読む・知る』を開催しました。

1月23日（水）、大阪国際児童文学振興財団総括専門員 土居安子さんをお招きして、おはなし会で読む絵本の選び方、読み方を学ぶ講座を開催しました。

講座ではまず、絵本とはどういうものか、なぜ集団の子どもたちに絵本を読み聞かせるのかというお話から始まり、最近の絵本の表紙をよく見て、絵やタイトル、予想できるストーリーを話しあうワークショップを行いました。受講者のみなさんも楽しんで意見を出し合っていました。

それから、集団の子どもたちに絵本を読むときには責任があり、本をよく選ぶ必要があること。絵本の表紙、構成、視点、絵、ことばなどの要素を検討すること。読み手の作品の解釈が読み方を決めるということ。古典的な絵本と、今の子どもたちのために描かれた新しい絵本をバランスよく選ぶために、新しい絵本を選ぶものさしを持つことなどをお話いただきました。

絵本と子どもたちへの愛情が伝わる内容で、約50名の受講者は熱心に耳を傾けていました。今後のおはなし会などの活動に、活かしていただければと思います。



レファレンス日誌から 第4回 ～「香川のいだてん」の巻～



県外にお住まいの方から、香川県出身の大浦留市氏、山田兼松氏について調査の依頼がありました。

はじめに、香川県関係の人名辞典等を調べてみると、陸上の長距離走とマラソンで活躍した人物であることがわかりました。そこで、伝記や陸上関係の資料から、より詳しく書かれた資料を探しました。

大浦留市氏は現在の宇多津町出身で、1920年(大正9年)のアントワープオリンピックの5,000m、10,000mに出場した香川県人初のオリンピック選手。大浦氏の帰国後、オリンピック選手を歓迎するマラソンを坂出青年団主催で行ったことが、香川県のマラソンの歴史のはじまりであるとの記述も見つかりました。

また、山田兼松氏は、坂出市出身。1928年(昭和3年)開催のアムステルダムオリンピックのマラソンに出場し、4位入賞の好成績を残しました。スタートから40キロ地点まで首位だったそうですから、金メダルまであと一步のところまで迫っていたようです。

2020年東京オリンピックの開催が間近となり、関連する調査の依頼が増えてきました。今回の依頼では、思いがけず香川県出身のオリンピック選手について知る機会となりました。

<参考資料>

- 『香川県大百科事典』四国新聞社出版委員会／編 1984.4 (K0310/S1)
- 『讃岐人物風景15』四国新聞社／編 1986.6 (K2810/S3/12-15)

この本オススメです！

～ 瀬戸内国際芸術祭 ～

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」をテーマに掲げ、瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が全ての地域の「希望の海」になることを目指して、2010年に始まり、今年で4回目を迎えます。

瀬戸内海の美しい景観とアート作品だけでなく、地域の人びとやアーティストとの協働による作品制作やイベント運営などが、この芸術祭を盛り上げ、より一層魅力的なものにしています。

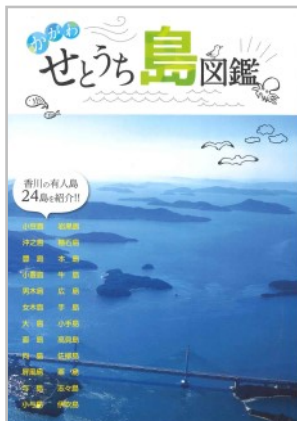
今回は、瀬戸内国際芸術祭に関連する本を紹介します。



『瀬戸内国際芸術祭 2016』
北川 フラム／監修（現代企画室）2017.6
（請求記号：K7019/S5/1-3）

「瀬戸内国際芸術祭2016」の発表作品やその解説、アーティストのプロフィールなどを英文併記で収録した記録集。すべてカラーで掲載され、写真集としても楽しめます。

来場者数や公式webアクセス数、来場者アンケートなどの数的記録も収録されています。



『かがわせとうち島図鑑』
（香川県政策部地域活力推進課）2018.3
（請求記号：K2910/K80/1-2）

瀬戸内海にある島々のうち、香川県には24の有人島があります。24の島へは、いずれも船で行くことができます。

島の基本情報だけでなく、島の見どころ、宿泊施設・お店の有無など島めぐりに役立つ情報が紹介されています。



『沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学』
（神戸芸術工科大学）2015.3
（請求記号：K7019/K19/2）

瀬戸内国際芸術祭が開催されていない年にも、「ART SETOUCHI」という名称で様々なアート活動が行われています。

その一環として、神戸芸術工科大学と坂出市が連携して、旧沙弥島小中学校をメイン会場に開催された「沙弥島アートプロジェクト」の活動記録です。

アートだけでなく、参加した市民の生き生きとした活動の様子がうかがえます。

●「東かがわ市立図書館」が開館！●

昨年11月25日（日）、複合施設「ひとの駅さんぼんまつ」内に「東かがわ市立図書館」がオープンしました。とらまる公園にあった「とらまる図書館」が移設されたもので、新図書館の収容可能冊数は約13万冊です。



JR三本松駅前にある「ひとの駅さんぼんまつ」。図書館は2階にあります。



「東かがわ市立図書館」入口



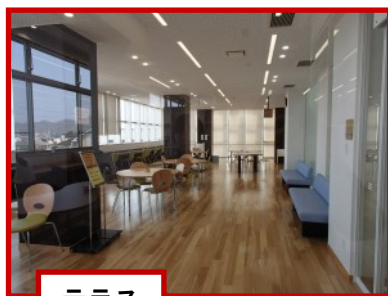
くつろぎの部屋

入口すぐのコーナー。雑誌が並べられていて、ソファでゆったりと読むことができます。



おはなしの森

絵本が並んでいるコーナー。床暖房があり、親子で絵本を楽しんだり、おはなし会を聞いたりできます。



テラス

多目的に利用できる場所。机と椅子があり、勉強や読書をすることもできます。自販機もあり、休憩にも利用できます。

ティーンズルーム



中高生のスペース。右側の壁は、ホワイトボードになっていて、自由に活用できます。



まちの調べものの部屋

郷土資料を集めたコーナー。市歴史民俗資料館の協力を得て企画展示を行うスペースもあります。

●ご利用等に関するお問い合わせ先・東かがわ市立図書館

〒769-2692 東かがわ市三本松1172-1 ☎0879-25-0696

●トイレ改修のお知らせ●

県立図書館・文書館では、今年度、1階・2階トイレの改修工事を予定しています。改修では、個室の広さの改善や和式トイレの洋式化を行うことにしています。工事期間等が決まり次第お知らせしますので、ご理解ご協力をお願いします。

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>